

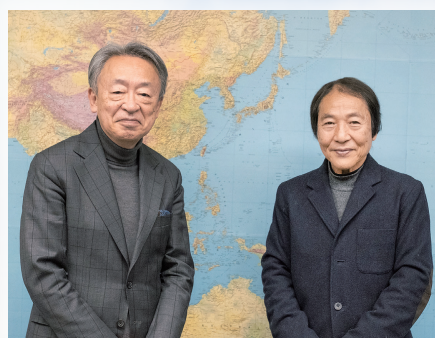
# 階

【きざはし】

～社会科教育を考える～

No. 51

2024年7月



池上彰のインタビュー  
今回は 関野 吉晴 さん

- 池上彰のインタビュー⑤①  
いちばん大切なものは探検が教えてくれた 2  
関野 吉晴 探検家
- わたしの一里塚  
「問い」から始まる哲学対話 8  
永井 玲衣 哲学者
- ここに教育あり  
ともに学び、ともに未来を目指す  
～プログラミング学習を通じた人づくり～ 10  
岩崎 光宏 栃木県立栃木工業高等学校 電子情報科 科長
- 社会と教育の架け橋  
地理教育支援の取り組み  
～地図から広がる学びへ～ 12  
大塚 孝泰・木村 幸一  
国土交通省 国土地理院 応用地理部
- 異国日本の地に立って  
来日して28年目を迎える私  
一日本での生活を振り返って 14  
シャヒン モハメド ミザヌル ラハマン  
公益財団法人 守屋留学生交流協会 第21回奨学生
- 子どもと、ともに  
地域の塩づくりの伝統と誇りを受け継ぐ 裏表紙  
愛知県蒲郡市立塩津小学校
- 資料  
世界へのDOORを開いてみよう！～フランス～

子どもと、ともに (裏表紙掲載)  
今回は愛知県蒲郡市立塩津小学校の取り組み



塩田に三河湾の海水を  
まく3年生



## 子どもと、ともに



①塩づくりオリエンテーションでは、道具に興味津々。



③毎日海水をまいてきた砂に海水を注ぎ、透明な「かん水」が出てくる様子を観察。



②ミニ塩田に砂を敷き、塩づくり開始。



④地域の方と一緒にかん水を煮詰める塩焼き体験。「塩津の塩」ができました！

## 地域の塩づくりの伝統と誇りを受け継ぐ

### 愛知県蒲郡市立塩津小学校

本校は、蒲郡市の中央部に位置し、北は遠望峰<sup>とぼね</sup>山<sup>やま</sup>、南は三河湾に面した風光明媚な地区である。全校児童は433名、そのうち外国にルーツをもつ児童が1割以上を占める、国際色豊かな学校である。

「総合的な学習の時間」が学習指導要領に位置づけられたことをきっかけに、平成14年度から地域伝統の「塩づくり」を学ぶ授業を開始した。

#### ●塩づくりの伝統を持つ土地

本地区の海岸近くでは、古くから塩づくりが行われてきたことから、土地と学校に「塩津」の名が残る。本校の校歌にも歌われ、体操服にも「塩」の文字が描かれている。

江戸時代から昭和20年代までは農家の半数以上が塩づくりに携わってきた地域であったが、製塩も機械化され、さらに昭和28年の台風により塩田が壊滅的な被害を受けたことなどから、地域伝統の塩づくりの文化は衰退してしまった。

児童が塩づくりを体験し、地域でこの伝統を引き継いでいこうと、かつて製塩に従事してきた方を講師に招き、塩づくり教育を続けている。

#### ●昔ながらの製塩法に取り組む

毎年4月下旬頃から、3年生の児童が講師の方

の指導の下、揚げ浜式の塩づくりに取り組む。

塩田に砂を敷き、昔ながらの製塩の道具「ヒラ」でならし、地元三河湾で汲んできた海水をまいて天日干しをする作業を2～3週間毎日繰り返す。塩分が付着した砂に海水を注ぐことで「かん水」を抽出し、それを煮詰めるなどの工程を経て、ようやく塩が完成する。また、塩を作る際にできる「にがり」も取り出し、調理実習での豆腐づくりにも活用している。

#### ●地域と伝統をつなぐ子どもたち

できたての塩を舐めた児童は「おいしい。塩はしょっぱいと思っていたけれど、甘さもある」「塩津の塩おにぎりは、最高！」と満面の笑みを浮かべる。毎日海水をまく作業を一生懸命がんばればがんばるほど塩分濃度が上がり、たくさんの塩ができるため、子どもたちのやる気につながっている。結果が「塩」として目に見えることから、児童同士で協力し、努力することの大切さをこの活動によって学びとることができている。

塩づくり教育を通して地域とつながり、郷土愛や伝統文化への誇りも育んでいる。これからも、この伝統が途切れないように続けていきたい。

階 【きざはし】

2024年6月25日発行 (No.51)

発行人：佐藤 清 発行所：株式会社 帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 電話03-3262-4795(代)

©Teikoku-Shoin Co.,Ltd. 2024 <https://www.teikokushoin.co.jp/>

X(旧Twitter) ID : @Teikokushoin

アンケートはWebからも  
ご回答いただけます

